

# まごめ園

## 令和3年度事業計画

### 1. 運営方針

- ① 地域社会に開かれた施設づくり
- ② 自立した豊かな地域生活の基盤づくり
- ③ 社会参加活動の拡充

### 2. 職員等配置計画

職員 21 名（兼務 3 名、就労継続支援 B 型 7 名、生活介護 11 名）・非常勤職員 7 名（就労継続支援 B 型 4 名、生活介護 3 名）・嘱託医 2 名 合計 30 名

### 3. 今年度の重点目標

法人重点推進事項		(1) 事業の機能強化 (3) 質の高い支援（虐待防止、権利擁護）	取組時期
1	一人一人が力を発揮できる環境の提供	内容 ・生活介護、就労継続支援 B 型機能の相互活用 ・利用者の主体性を尊重した支援 ・事業所虐待防止・人権委員会定期開催及び、身体拘束適正化の推進 ・生産活動と販売機会の充実に向けた取り組み ・園前定期販売の実施	通年  定期  2 回/月
法人重点推進事項		(2) 地域公益活動の推進 (5) 活力ある組織・経営基盤づくり	
2	地域貢献と社会参加の取組み強化	内容 ・感染症対策を講じながら実施する。 ・第 28 回まごめ幸陽祭の開催（実行委員会形式） ・地域イベント等への参加・協力、地域交流を通じた社会参加の機会 ・地域への設備・物品貸出し ・施設公開 ・ボランティア、実習生の積極的な受け入れ	9/26(日) 年 6 回  随時  通年
法人重点推進事項		(1) 事業の機能強化 (5) 活力ある組織・経営基盤づくり	
3	関係機関との連携強化	内容 ・相談支援、地域生活支援、介護事業等との連携 ・利用者の主体性を尊重した多様なニーズへの対応 ・地域力推進馬込地区委員会、地域防災会議等への参加	随時 通年 定例
法人重点推進事項		(3) 質の高い支援（虐待防止、権利擁護） (4) 福祉人材の確保・育成・定着	

4	支援の質の向上	内容	・全利用者の事例検討実施 ・専門性向上のための研修実施	年2回 計画実施
---	---------	----	--------------------------------	-------------

#### 4. 利用者受入等・年間作業売上金の分配

在籍	66名 就労継続支援B型38名 生活介護 28名	新規利用者	3名 就労継続支援B型1名 生活介護 2名	定員	62名 就労継続支援B型37名 生活介護 25名
年間開所日数	237日	利用率目標(在籍)	89.0%(昨年度比 3.0%アップ)		
目標平均工賃(B型)	20,190円	前年度上期平均工賃(B型)	15,564円		

#### 5. 年間行事計画(詳細別紙)

4月	入所式	10月	しょうがい者の日のつどい 宿泊訓練(就労継続支援B型)
5月		11月	宿泊訓練(生活介護)
6月	地域合同防災訓練	12月	忘年会
7月		1月	成人を祝う会
8月	納涼会	2月	
9月	利用者健康診断 第28回まごめ幸陽祭	3月	納会

※ 外出訓練(各事業 年1回)

#### 6. 虐待防止・権利擁護の取り組み

\*平成31年3月の「障害者虐待防止特別委員会答申書」に基づく取り組み

「虐待防止に向けた体制づくりと組織の取り組み・仕組み等の活性化」

	実施項目	具体的取組
1	虐待防止 権利擁護	*「虐待防止対応要綱」に基づく法人および事業所虐待防止・人権委員会の取り組み、身体拘束適正化の推進 *徹底した現場主義に基づく事例検討の実施 *「法人サービス利用者の権利擁護規程」「社会福祉法人大田幸陽会サービス提供ガイドライン」等を踏まえた支援
2	苦情解決	「苦情解決制度に関する要綱」に基づいて適切に対応
3	個人情報保護	「個人情報保護規程」および「特定個人情報規程」に基づいて適切に対応

#### 7. 人材確保・育成とサービスの質向上の取り組み・研修計画(\*事業所計画)

目的：ライフステージに合わせた質の高いサービス提供。

\*平成31年3月の「障害者虐待防止特別委員会答申書」に基づく取り組み

「専門性に基づく支援のスーパーバイザー育成」

	実施項目	具体的取組
1	OJT・職場内研修	虐待防止・権利擁護に関する研修、法令遵守関係（就業規則・サービス提供ガイドライン等）、障害特性・支援技術に関する研修、防災・応急救護に関する研修、感染症対策・保健衛生に関する研修、働き方改革関連、法人共通ガイドラインに沿った新任職員OJTと面談の実施
2	外部研修	障害特性・専門性向上に関する研修、東社協キャリアパス対応生涯研修課程、人権研修、サービス管理責任者、相談支援専門員初任者研修、強度行動障害者支援関係の研修 *その他、職員希望に沿った受講促進
3	自己研鑽支援	資格取得奨励制度の周知・奨励、自己研鑽に関する情報提供および関連図書の貸出し等

## 8. 地域公益活動の推進

	実施項目	具体的内容
1	第 28 回まごめ幸陽祭の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9/26（日）開催</li> <li>・地域町会、関係機関で組織した実行委員会形式で実施</li> <li>・地域住民参加型の開催により交流の場とする</li> </ul>
2	地域への設備・物品貸出し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物品貸出リストの公開</li> <li>・地域への貸出し実施</li> </ul>
3	ボランティア受け入れ強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的なボランティア受け入れにより、地域住民の活躍の場を広げる</li> <li>・中間的就労ボランティアの受け入れとして、はたらくサポートとうきょう「はたらく場登録情報」に継続登録</li> </ul>

## 9. 地域・関係機関連携

	実施項目	具体的内容
1	相談支援、地域生活支援、介護事業等との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化・重度化による多様なニーズへの対応とファミリーサポート（アウトリーチ、高齢者送迎支援含む）</li> <li>・関係者会議、ネットワークへの参加</li> </ul>
2	地域との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域イベント等への参加・協力・出店・出展</li> <li>・地域力推進馬込地区委員会、地域防災会議等への参加</li> <li>・近隣小学校交流</li> </ul>
3	福祉人材受入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助実習、人事院研修、介護等体験、保育実習の受入れ</li> </ul>
4	広報活動等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ更新</li> <li>・広報紙年3回発行</li> </ul>

## 10. 法令遵守に関する取り組み

\*平成31年3月の「障害者虐待防止特別委員会答申書」に基づく取り組み  
「経験職員等の多様な人材を活かしあう事業所づくり」

	実施項目	具体的取組
1	法令遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令遵守推進に関する関係法令・条例・法人諸規程等に基づき・適切に対応</li> <li>・法人ハラスメント防止規程に基づき、ハラスメントの防止策に取り組む</li> </ul>
2	「働きやすい職場」づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言」の継続した取り組み推進及び、「働き方改革」に対応した法人の取り組みとの連携</li> </ul>

### 1 1, 危機管理計画

	実施項目	具体的取組
1	事業継続 (BCP)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業継続 (BCP) に関する事項の見直し・整備</li> <li>・感染症対策</li> </ul>
2	防災関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期防災訓練</li> <li>・地域合同防災訓練に参加</li> </ul>
3	緊急時対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「緊急時対応マニュアル」による対応</li> <li>・応急救護、防犯に関する訓練の実施</li> </ul>

### 1 2, その他

令和元年度福祉サービス第三者評価受審結果を踏まえた改善計画に基づく、サービス向上に向けた取り組みの実施

#### ○特に良いと思われる点

タイトル1	多様なニーズに応えうる体制と実践が、継続的な利用を支えている。
内容	引き続き、多様なニーズを有する方々に必要な支援や活動の機会、場を提供する。
タイトル2	尊厳の尊重・不適切なケアの排除について、根本的な視点で振り返りを行っている。
内容	サービス提供ガイドラインをもとに共通認識を確認し、チェックリストによる気づきや振り返りを共有することで継続的な改善につなげていく。
タイトル3	利用者一人ひとりの現状に応じて支援内容を決定している。
内容	本人の希望を踏まえ、より本人の現状に適した支援内容となるよう多角的な視点から検討を行う。

#### ○さらなる改善が望まれる点

タイトル1	利用者一人ひとりが力を発揮しうる環境を維持していく。
内容	生活介護、就労継続支援B型それぞれの事業の目的を踏まえつつ、状態の変化を前提として、無理なく本人のペースで通い続けられるよう環境調整等工夫を重ねていく。
タイトル2	地域との連携・地域への貢献を積み重ねていく。
内容	関係機関との連絡会や協議会などへの参画、地域との防災の連携、備品貸出など、地域との連携・貢献を積み重ねていく。
タイトル3	商品の提供のあり方を検討していく。

内容	自主生産品の生産・販売において、価格設定や商品の見せ方等の工夫により売り上げの向上、工賃の向上を目指す。
----	--

別紙添付 令和3年度年間計画